

日本医学会だより

JAMS News

2019年10月 No.62

日本医学会

◆日本医学会公開フォーラム

第26回日本医学会公開フォーラムは「がん治療における正しい免疫療法の理解」をテーマに、10月26日(土)13:00~16:05、日本医師会館大講堂において開催。

組織委員長は、中釜 斉(日本癌学会理事長)。参加申し込みは郵便はがき、FAX、本会ホームページ(<http://jams.med.or.jp/>)にて受付。参加費無料。詳細は日本医学会ホームページに掲載。

◆日本医学会シンポジウム

第156回日本医学会シンポジウムは「腸内細菌は健康と疾患の根源か?」をテーマに、11月16日(土)13:00~17:05、日本医師会館大講堂において開催予定。

組織委員は、大野博司(理化学研究所生命科学センターチームリーダー・腸管免疫学)、金井隆典(慶應義塾大学医学部教授・消化器内科学)の各氏。参加申し込みは郵便はがき、FAX、本会ホームページ(<http://jams.med.or.jp/>)にて受付中。参加費無料。詳細は日本医学会ホームページに掲載中。

◆医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を8月30日(金)に開催し、2019年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会委員並びに特例委員が、今年度の推薦数:医学賞18,奨励賞31を審査した。

選考の結果、11月1日(金)の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は3名、奨励賞は15名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

〈日本医師会医学賞〉

- ・がん遺伝子 *RET* と細胞運動制御因子 Girdin の発見と機能に関する研究/高橋雅英(名大・分子病理学)
- ・健康寿命に関する疫学研究と健康寿命延伸に向けた提言/辻 一郎(東北大・公衆衛生学)
- ・福山型筋ジストロフィーを含めた糖鎖合成異常症の系統的な解明・治療に関する研究/戸田達史(東大・神経内科学)

〈日本医師会医学研究奨励賞〉

- ・シナプス結合則から大脳新皮質の基本構築を探索/日置寛之(順天堂大・神経生物学・形態学)
- ・生体イメージングによる Central Nervous System Lupus 病態解明と新規治療法開発への挑戦/宮部斉重(日医大・細胞生物学)
- ・代謝機構の理解に基づくヒト iPS 細胞由来心筋細胞の作製とその応用/遠山周吾(慶大・循環器内科学)
- ・ROCK シグナルによるエネルギー代謝調節機構の解明と糖尿病腎症への治療応用/的場圭一郎(慈恵医大・糖尿病・代謝・内分泌内科学)
- ・脳腎連関を介した腎臓保護メカニズムの解明/井上 剛(東大・CKD 病態生理学)
- ・clonal hematopoiesis に注目した自己免疫性疾患の病態解明/寺尾知可史(理化学研究所)

- ・解糖系酵素に焦点を充てた脳アミロイド血管症の病態解明と治療開発/井上泰輝(熊本大・脳神経内科学)
- ・がん治療と就労の両立支援に関する研究と就労支援ツールの開発/遠藤源樹(順天堂大・公衆衛生学)
- ・糖尿病とがん：両者を繋ぐ複雑な関係を明らかにするための疫学研究/後藤 温(国立がん研究センター社会と健康研究センター)
- ・オートファジー・リソソーム機能を標的とした難治性糖尿病性腎症に対する新規治療法の開発/久米真司(滋賀医大・糖尿病内分泌・腎臓内科学)
- ・稀少難治性疾患(POEMS症候群)に対する治療戦略の構築/三澤園子(千葉大・脳神経内科学)
- ・肺炎球菌ワクチン導入に伴う肺炎球菌の遺伝子組み換え機構および薬剤耐性菌拡散原因の解明/中野哲志(京大・臨床病態検査学)
- ・原発性肝癌における革新的治療開発を目指した腫瘍免疫とサルコペニアの網羅的解析/伊藤心二(九大・消化器・総合外科学)
- ・難治性耳管開放症に対する診断・治療に関する研究/池田怜吉(仙塩利府病院耳科手術センター)
- ・Neurovascular Unitの概念から導きだされる糖尿病黄斑浮腫の病態解明と新規治療戦略/臼井嘉彦(東京医大・眼科学)

◆医学用語管理委員会

10月30日(水)、12月17日(火)に開催予定である。

◆遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ

医学用語管理委員会のワーキンググループ(WG)で、9月19日(木)に開催された。7月8日に日本学術会議から「高等学校の生物教育における重要用語の選定について(改訂)」が公表され、新聞でも大きく報じられた。「優性、劣

性」を高校の教科書で「顕性、潜性」と表記することを決定したとする内容であった。現在WGで検討中の課題であることからWGでは、「社会、医学、医療の分野を含めて総合することが望ましい。」として日本学術会議に申し入れを行った。10月1日(火)に両者で意見交換の場を持った。

◆「奇形」を含む医学用語の置き換えに関するワーキンググループ(仮称)

医学用語管理委員会のワーキンググループであり、本年度新しく発足する(座長：森内浩幸 長崎大学大学院教授・小児科学)。

◆2019年度分科会用語委員会

本年度は12月17日(火)14:00~16:00、日本医師会館小講堂にて開催予定である。

◆子宮移植倫理に関する検討委員会

日本医学会子宮移植倫理に関する検討委員会は、14名の委員から成る委員会で、2019年度に新たに発足した(委員長：飯野正光 日本大学医学部特任教授/日本医学会副会長)。4月3日(水)、5月28日(火)、7月26日(金)、9月11日(水)にそれぞれ開催され、11月20日(水)に第5回委員会を開催予定。

◆日本医学会定例評議員会

第87回日本医学会定例評議員会を2020年2月28日(金)14:00~16:00、日本医師会館大講堂にて開催予定。主な議題は1. 2019年度年次報告、2. 2020年度事業計画、3. 日本医学会新規加盟学会の件、4. その他である。

◆移植関係学会合同委員会

第38回委員会を書面決済にて開催した。審議事項は、新規腎臓移植実施施設の認定(鳥取大学医学部附属病院)である。